

当院での病棟派遣検査技師に関する取り組み

◎佐藤 聖子¹⁾、細井 光沙¹⁾、下村 奈千恵¹⁾、杉本 邦彦¹⁾、杉浦 縁¹⁾、藤田 孝¹⁾、畑 忠善¹⁾
藤田医科大学病院¹⁾

【背景】

臨床検査技師の病棟配置について、日本臨床検査技師会（日臨技）主導のもと、多くの調査や報告がされている。当大学病院では、臨床支援の一環として33年前より臨床検査部による病棟採血を開始し、現在では大半の病棟での早朝定期採血を臨床検査技師が行っている。また、ICU病棟や救命救急センター内の救命検査室ではセンター内の採血及び生理検査業務を担っているが、一般病棟での臨床検査技師の活動実績は糖尿病指導のみである。

【目的】

今回、患者の利便性向上と負担軽減、タスク・シフト/シェアによる多職種の業務効率化、臨床検査技師のチーム医療への貢献と地位向上を目標に、病棟派遣検査技師に関する取り組みについて検証を行った。

【病院概要】当院は愛知県にある1376床の大規模病院であり、特定機能病院として高度医療を推進する一方で、地域医療における基幹病院としての使命も担っている。臨床検査技師は126名在籍しており、各専門分野に分かれて従事

している。

【対象と方法】日臨技報告書および他施設の先行活動を参考に血液内科、循環器内科での実施を計画し、事前に病棟で勤務する医師、看護師に業務に関するアンケート調査を行った。

【まとめ】調査結果を基盤に、パイロットスタディによる実地検証を行い、病棟派遣検査技師の将来展望について考察し報告する。

連絡先：0562-93-2307